

経営比較分析表（令和2年度決算）

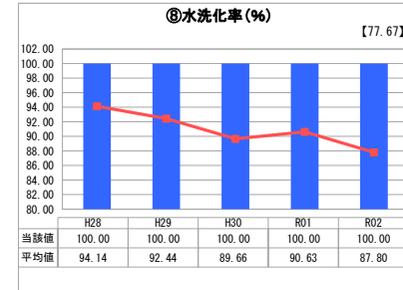
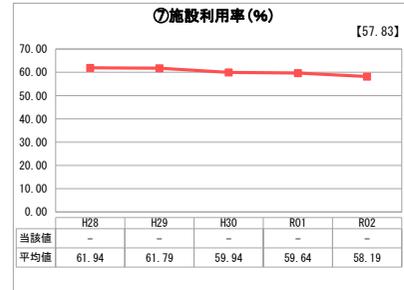
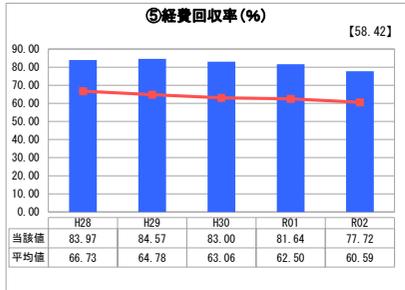
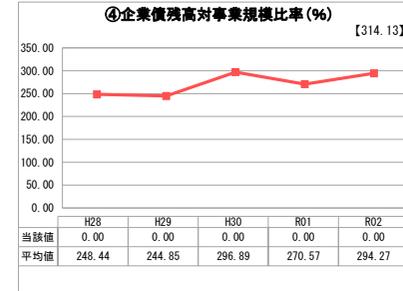
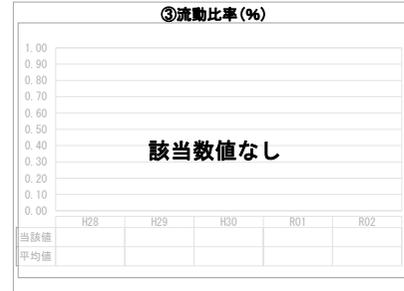
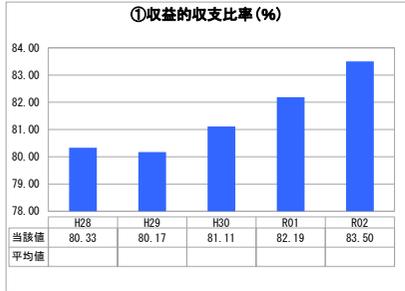
熊本県 芦北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.99	100.00	3,142

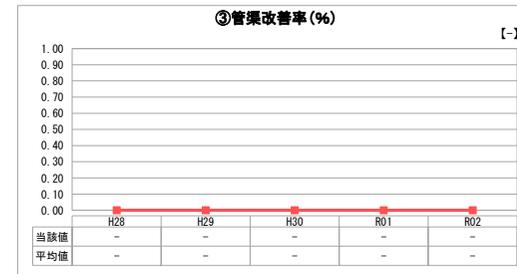
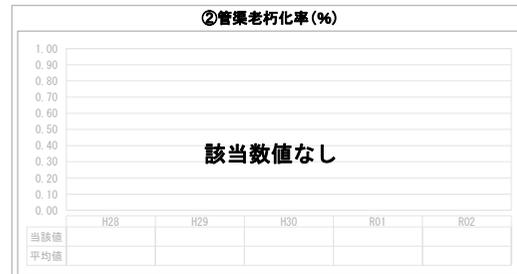
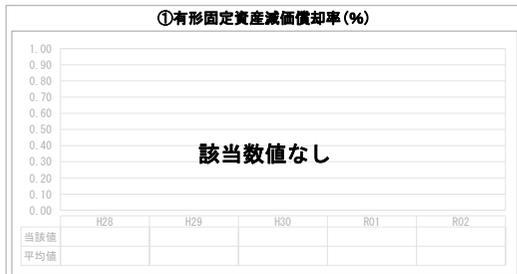
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,556	234.01	70.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,129	12.95	164.40

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【】	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率の増加は、地方債償還金の減少によるものです。
 汚水処理原価の増加は、委託料の増加及び水害に伴う修繕料の増加によるものです。
 汚水処理原価の増加により、経費回収率は減少しております。
 今後も修繕等の維持管理費用は増加する見込みであるため、それを見据えた使用料金の設定を検討する必要があります。

2. 老朽化の状況について

老朽化により、浄化槽本体・ブロー等機器の故障が増加しております。浄化槽本体については、現在は修繕に対応しておりますが、今後、修繕ではなく交換が必要な浄化槽も出てくるのではないかと考えております。どの程度の老朽化状況で交換するのが望ましいのかしっかりと検討する必要があります。

全体総括

老朽化による維持管理費用の年々増加してきており、次期の修繕費用が平準化できるように引き続き計画的な修繕を行ってまいります。
 普段の維持管理についても、保守点検業者としっかりと連携を取り、適切な点検回数を判断し、費用の削減に努めてまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。